

開催日：平成30年7月19日（木）

場所：三重県立美術館 会議室2

平成30年度第1回三重県立美術館協議会 開催結果

平成29年度事業について

- ・入館者数は年度により大きく動くので、周年行事や展覧会のジャンルにより、要因分析をした方がよい。
- ・どのような広報が有効であったかについて分析した方がよい。
- ・「テオ・ヤンセン展」、「ぼくと わたしと みんなの tupera tupera 絵本の世界展」は、写真が撮れることで広まったので、SNSによる広報を考えるべき。
- ・駅からのアクセスがわかりにくいので、新しい客層に対応するためにも見直すべき。
- ・美術の教員で構成される研究会において、学芸員が展覧会の魅力を話すことで、高校生の集客に効果があるのではではないか。

平成30年度事業について

- ・美術館に来たらこんなことがわかるということを学芸員が早い段階から PR をしていくべきである。
- ・一部指定管理になったことで、文化交流ゾーンでの共通の広報をしていると思うが、三重県立美術館独自でも積極的に広報をしていくべき。
- ・作品の写真を撮れるようにすることで、インスタグラムにより、若い層への拡散が期待できる。